

令和2年4月17日
林野庁
近畿中国森林管理局

令和2年度 近畿中国森林管理局 重点取組事項の公表について

近畿中国森林管理局では、公益重視の管理経営の一層の推進、林業の成長産業化に向けた貢献、国民の森林としての管理経営に向けて、その有する組織・技術力・資源を活かし、民有林関係者とも連携を図りつつ、木材の安定供給、路網の整備、林業の低コスト化等に向けた各般の取組を積極的に進めております。

このたび、令和2年度の重点取組事項に関する資料をとりまとめましたので、公表します。

【問い合わせ先】



林野庁近畿中国森林管理局
企画調整課
担当者：課長 嘉門
電話：050-3160-5682
FAX：06-6881-3415

令和2年度重点取組事項



令和2年4月17日
林野庁 近畿中国森林管理局

令和2年度 林野庁近畿中国森林管理局重点取組事項について

I 公益重視の管理経営の一層の推進

- 1 ICT等を活用した国有林の管理経営の推進
- 2 シカ被害対策
- 3 治山・災害復旧対策の推進
 - 3-1 治山事業の推進
 - 3-2 森林災害からの復旧
- 4 生物多様性の保全

II 林業の成長産業化に向けた貢献

- 1 林業の成長産業化に向けた民有林への支援
- 2 民有林と連携した森林整備等の推進
- 3 林業の低コスト化の推進
- 4 林産物の安定的な供給と林業事業者等の育成・強化
- 5 技術開発と普及

III 国民の森林としての管理経営

- 1 観光資源としての積極的活用
- 2 国民参加の森林づくり
- 3 森林環境教育の推進
- 4 多様な情報受発信
- 5 伝統文化の継承への貢献
- 6 大学、試験研究機関との連携の強化

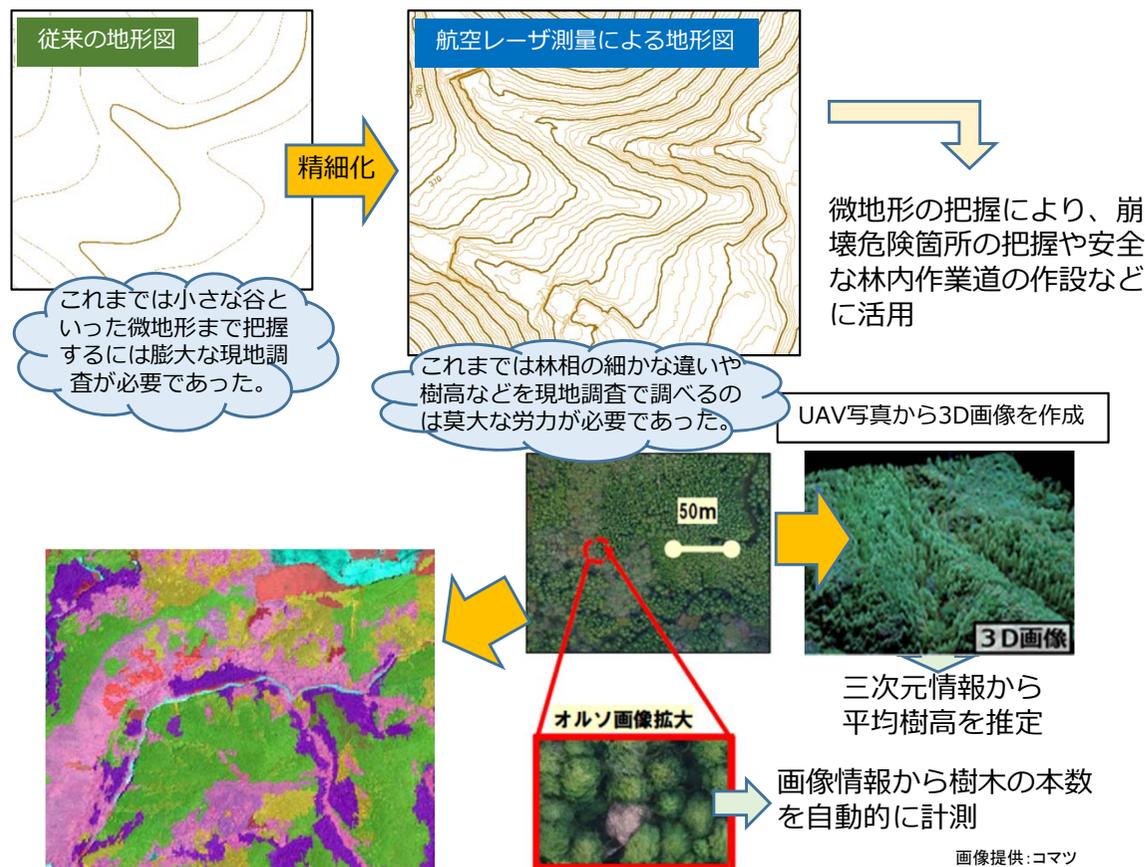
I 公益重視の管理経営の一層の推進

1 ICT等を活用した国有林の管理経営の推進

公益的機能を重視した多様な森林づくりを進めるため、リモートセンシングやICT(情報通信技術)を活用し、精度の高い森林情報の整備や森林被害の効率的な把握などに取り組みます。

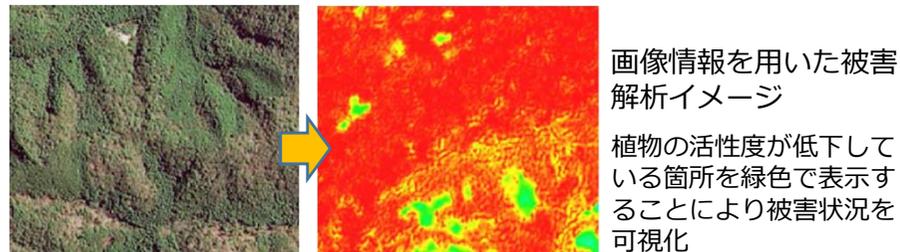
森林情報の精度向上に向けた取組

人工林資源が充実し、利用期を迎える中、公益的機能を重視した多様な森林づくりを進める上で、精度の高い森林の現況把握（人工林の成育状況、地形の状況等のデータ整備）が重要です。このため、衛星、UAV（ドローン）、レーザ測量などを用いたデジタルデータ化や、ICTの活用により、正確な樹高、本数密度、林内地形などの情報を国有林の管理に活用する手法を検討します。



森林被害を早期に把握する取組

森林に発生する病虫害やシカの食害は、特に踏査が困難な奥地では、早期の被害発見や経年変化の情報把握が困難であったことから、リモートセンシング等による画像情報を活用する手法を検討します。



画像情報を用いた被害解析イメージ

植物の活性度が低下している箇所を緑色で表示することにより被害状況を可視化

木の文化を継承するための取組

「文化財継承林」「世界文化遺産貢献の森林」などを設定し、歴史的木造建築物の修復に必要な木材の育成、確保に取り組んでいます。これらの林分についてレーザ測量やICT等を活用した資源量のデータ化手法を検討し、樹種ごとの本数、樹高、直径、成長量等をより正確に把握することにより、将来的に供給可能な資源の透明化を推進します。



地上レーザ測量



測量データからの解析画像

2 シカ被害対策

近畿中国地方では、ニホンジカの分布域が拡大傾向にあり、管内の国有林においても苗木の食害や下層植生の衰退等が発生し、被害が深刻化しているため、地域と一体となって、シカ捕獲対策、新植箇所等の保護、生息状況調査などに取り組みます。

○シカによる被害が深刻



自動撮影カメラによる調査



下層植生の食害

新植箇所の保護



新植箇所の苗木の保護を図るため、防護柵や単木保護を施し、侵入・食害の防止に取り組みます。

防護柵については、立木を支柱として活用することで、労務、資材コストの削減につながり、ネットを斜めに張ることで効果的にシカの侵入を防いでいます。

(植栽から3年目)
【岡山県備前市 大師谷国有林】

地域連携の取組(令和元年10月24日協定締結)



広島県安芸高田市内の関係機関(安芸高田市、安芸高田市有害鳥獣捕獲班連絡協議会、広島北部森林管理署)が「シカ被害対策推進協定」を締結し、地域が一体となったシカ被害対策に着手しました。

令和2年度は、和歌山県内の民有林・国有林での連携を予定しています。

「小林式誘引捕獲法」 職員の創意工夫によって開発・実証！！



わなの設置
方法に工夫



円の中央から、わな、障害物(石・枝)誘引餌(ハイブ・米ぬか等)

- ・ジビエ利用にも効果的(前足に掛かるため、利用できる肉が多い)
- ・わなの設置場所が林道沿線であり、搬出が容易
- ・イノシシの捕獲は、餌を米ぬか等に替えるだけ

○短期集中 1週間捕獲プログラム(設置例)

1日目	2日目	3日目	4日目	5日目	6日目	7日目
捕獲ポイントの選定・給餌	待機		採食状況の確認 わな設置	見回り・捕獲 わな撤去		

○1週間プログラムを月1回実施した捕獲実績

	罠いワナ	小林式
平成27年度	10	
平成28年度	7	69
平成29年度	6	81
平成30年度		61
令和元年度		129

○従来方式と小林式誘引捕獲法の比較

	従来方式	小林式誘引捕獲法
設置場所	獣道の特定箇所	獣道の近く
エサ	なし	ハイキューブ(米ぬか)
経験	経験による差は大きい	経験による差はない
設置時間(1基あたり)	約20分	約5分
林道からの距離	遠い	近い
見回り	時間が掛かる	車で走りながら
捕獲	道までが遠い	すぐに車に積み込み
捕獲回数	同じ場所では掛かりにくい	同じ場所で繰り返し掛かる
くくりワナの数	山の中にかけるので約15基程度	30基程度

3 治山・災害復旧対策の推進

3-1 治山事業の推進

平成30年7月の豪雨災害など激甚化する自然災害を受けた山地の早期復旧に取り組みます。当局では国有林のみならず、県の要請を受けて民有林の災害復旧に取り組むとともに、地域の安全・安心を確保するための事前防災・減災対策を推進します。

平成30年7月豪雨災害からの復旧

広範囲にわたる山地災害からの早期復旧に向けて、**東広島地区民有林直轄治山事業**を実施するとともに、**国有林の復旧対策**を推進します。



【広島県東広島市 高屋地区（民有林）】



溪間工施工中（令和2年3月）

東広島地区民有林直轄治山事業

- 事業期間：令和元年度～令和10年度
- 総事業費：98億円
- 主な事業内容：溪間工75基
山腹工58ha



被災直後【広島県三原市 仏通寺山国有林】



山腹工完成（令和2年2月）



被災直後【兵庫県姫路市 城山国有林】



山腹工完成（令和元年8月）



被災直後【岡山県浅口市 加賀山国有林】



溪間工完成（令和2年1月）

上秋津区域(紀伊田辺地区民有林直轄治山事業)における斜面崩壊への対応

大規模な地すべり地が確認されている上秋津区域において、令和元年7月に地すべりに起因する末端部の山腹崩壊が発生しました。この対策として、地下水を取り除き、地すべりの活動を抑制するための工事を進めます。



【和歌山県田辺市上秋津（民有林）】



集水井工を施工中（令和2年1月）

※集水井工：地上からでは排除できない深部のすべり面の地下水の排除に効果的で、地すべり活動を抑制させる工法

3-2 森林災害からの復旧

平成30年9月の台風21号により発生した風倒木被害地について、倒木の処理や災害に強い森林の再生に取り組みます。

また、新たな山地災害が発生した際には、必要に応じて応急対策等を実施するとともに、本格的な復旧工事に向けた詳細調査等の初動対応を行います。さらに、地元自治体の要請に応じ、民有林の被災状況の確認等の支援を行います。

風倒木被害地の再生

平成30年台風21号により、京都市の貴船山及び鞍馬山国有林において、大規模な風倒木被害が発生しました。当地域は、被害箇所と人家・道路等が近接するとともに観光名所であり、奥地にある国有林とは異なる扱いが求められ、復旧にあたっては多角的な視点からの検討が必要でした。

このため、当局では有識者からなる検討委員会を立ち上げ、専門家や地域住民の御意見をいただきながら、被害の全体像の把握や地形地質からの分析等を行い、今後の風倒木処理や森林再生について、「平成30年台風21号等被害に係る森林再生全体計画（貴船・鞍馬）」をとりまとめました。

本計画に基づき、地域の安全・安心を確保しつつ、観光産業を軸とした地域振興に配慮した森林再生に取り組みます。



【風倒木処理作業】



【ヘリコプターによる搬出】



【ゾーン区分による森林再生方針】



【落石防護柵の設置】



【風倒木処理後】

災害発生時の初動対応・民有林支援

山地災害発生の際には、森林管理局署の職員が現地確認やヘリコプター、ドローンによる調査を速やかに実施し被害の全容を把握するとともに、必要に応じて応急対策の実施や、本格的な復旧工事に向けた現地の詳細調査・測量などの初動対応に取り組みます。また、地元自治体の要請に応じ、民有林の被災状況の確認や復旧に向けた技術的支援を行います。

○地元自治体との合同ヘリ調査



【7月豪雨災害後にヘリ調査を実施(H30.7.10 広島森林管理署)】

○民有林被害調査の技術的支援



【職員による地方自治体職員へのドローン操作の技術指導 (R元.9.27 石川森林管理署)】

4 生物多様性の保全

希少な野生生物の生育・生息地等を保護・管理する「保護林」、それらを中心にネットワークを形成する「緑の回廊」、溪畔周辺を本来の植生に誘導する「溪畔林」を設定し、生物多様性の保全に重要な役割を果たす森林生態系の適切な管理を推進します。

保護林

・森林生態系保護地域（3箇所 11,630ha）

我が国の気候帯又は森林帯を代表する原生的な天然林を保護・管理します。

- 白山（石川県白山市）
- 大杉谷（三重県大台町）
- 大山（鳥取県琴浦町、大山町、江府町）



【白山森林生態系保護地域】

・生物群集保護林（8箇所 5,493ha）

地域固有の生物群集を有する森林を保護・管理します。

- 犀川源流、千丈平（石川県白山市）
- 上谷山（滋賀県長浜市）
- 氷ノ山・三の丸（兵庫県宍粟市、養父市）
- 池郷（奈良県下北山村）
- 鳴川山（奈良県天川村）
- 黒蔵谷（和歌山県田辺市）
- 三国山（鳥取県三朝町、鳥取市）



【三国山生物群集保護林】

・希少個体群保護林（69箇所 4,295ha）

希少な野生生物の生育・生息に必要な森林を保護・管理します。

- | | | | |
|--------|----------|--------|----------|
| 石川県(2) | 福井県(6) | 三重県(6) | 滋賀県 (2) |
| 京都府(3) | 兵庫県(8) | 奈良県(4) | 和歌山県(7) |
| 鳥取県(4) | 島根県(7) | 岡山県(5) | 広島県 (10) |
| 山口県(5) | ※()は箇所数 | | |



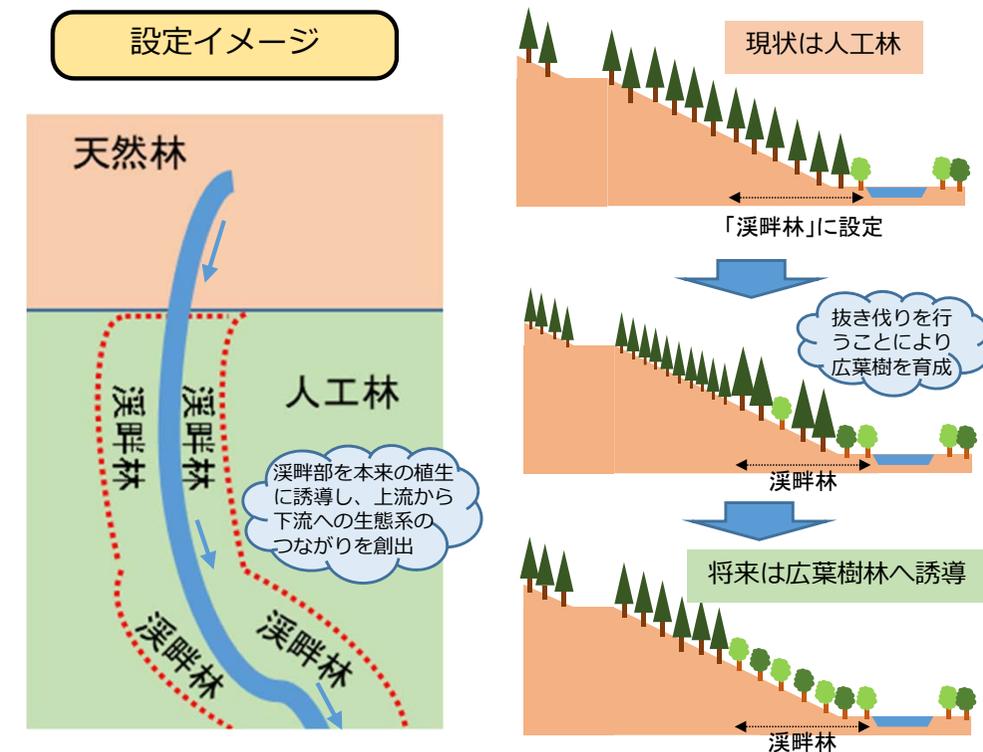
【右谷山ブナ希少個体群保護林(山口県)】

緑の回廊(3箇所)

- | | | |
|-----------|----------|-------------------|
| 白山山系緑の回廊 | 42,876ha | (石川県、福井県、富山県、岐阜県) |
| 越美山地緑の回廊 | 24,483ha | (福井県、滋賀県、岐阜県) |
| 東中国山地緑の回廊 | 6,186ha | (兵庫県、鳥取県、岡山県) |

溪畔林

溪畔周辺的人工林を「溪畔林」に設定し、抜き伐り等によって非皆伐状態を維持しながら本来の植生へ誘導する取組を行います。このことにより、水系への土砂流出の抑制、風致の維持、野生生物の生育場所や移動経路の確保といった溪畔林に期待される機能の向上を推進します。



II 林業の成長産業化に向けた貢献

1 林業の成長産業化に向けた民有林への支援

戦後植林された人工林が本格的な利用期を迎える中、これらの森林資源を循環利用し、林業の成長産業化と森林資源の適切な管理を両立させていくことが我が国の森林・林業にとって重要な課題となっています。こうした状況を踏まえ、民有林との連携強化、現地検討会の開催等により民有林の支援に取り組みます。

フォレスター活動の推進 -複数府県を跨いだフォレスター活動-



地域における林業の成長産業化に向けた取組として、多様化する林業の課題や地域ニーズを踏まえ、**ブロックの再編**を行いました。

林業の成長産業化や**造林・保育の低コスト化**に向けた取組のほか、複層林や針広混交林への誘導など、より**公益的機能の発揮に重きを置く森林の取扱い手法**の普及に向け、府県と連携し、現地検討会やシンポジウム及び情報交換会のほか、民有林とも連携した先進事例の視察を通じて、市町村の森林・林業行政等に対する技術支援に取り組みます。

昨年度、Bブロック（三重県、奈良県、和歌山県）においては、「コンテナ苗による造林費のコスト削減」や「効率的なシカ被害対策」をテーマに現地検討会を開催し、行政機関や林業事業者等へ成果等の情報を共有し、意見交換を行いました。

引き続き、各ブロックの取組を通じて、府県・市町村への支援や意欲と能力のある林業経営者の育成に取り組みます。

また、現地検討会等の開催にあたっては、将来の森林・林業の担い手を育成するため、森林・林業に関する学科・科目を有する大学等に対しても参加を呼びかけます。



小林式誘引捕獲法の説明
【奈良県野迫川村 桧股国有林】

◆ 再編後の関係府県 ◆

Aブロック

石川県、福井県、京都府、大阪府、兵庫県

Bブロック

三重県、滋賀県、奈良県、和歌山県

Cブロック

鳥取県、島根県、岡山県、広島県、山口県

関係府県・市町村等との連携

森林・林業施策に係る情報を共有するため、引き続き、地域林政連絡会議、国有林野所在市町村長連絡会議を開催します。

また、森林経営管理制度や森林環境譲与税等がスタートしたことを踏まえ、地域の課題やニーズを把握し、協力・支援を行ってまいります。



【局管内国有林野所在市町村長連絡会議】

森林・林業関連教育機関等との連携

意欲と能力のある林業経営者や林業の担い手育成が重要となっており、**全国初の取組**として、令和元年度に管内9府県の林業大学校等の教育機関と**近畿中国森林管理局管内林業大学校等協議会**を設置しました。

今年度の協議会ではネットワークを広げるため、林業大学校等がない府県も対象として担い手育成の取組や林業施策等の情報提供・意見交換を行い、講師派遣や実習フィールド提供による人材育成に協力してまいります。



【局管内林業大学校等協議会】



2 民有林と連携した森林整備等の推進

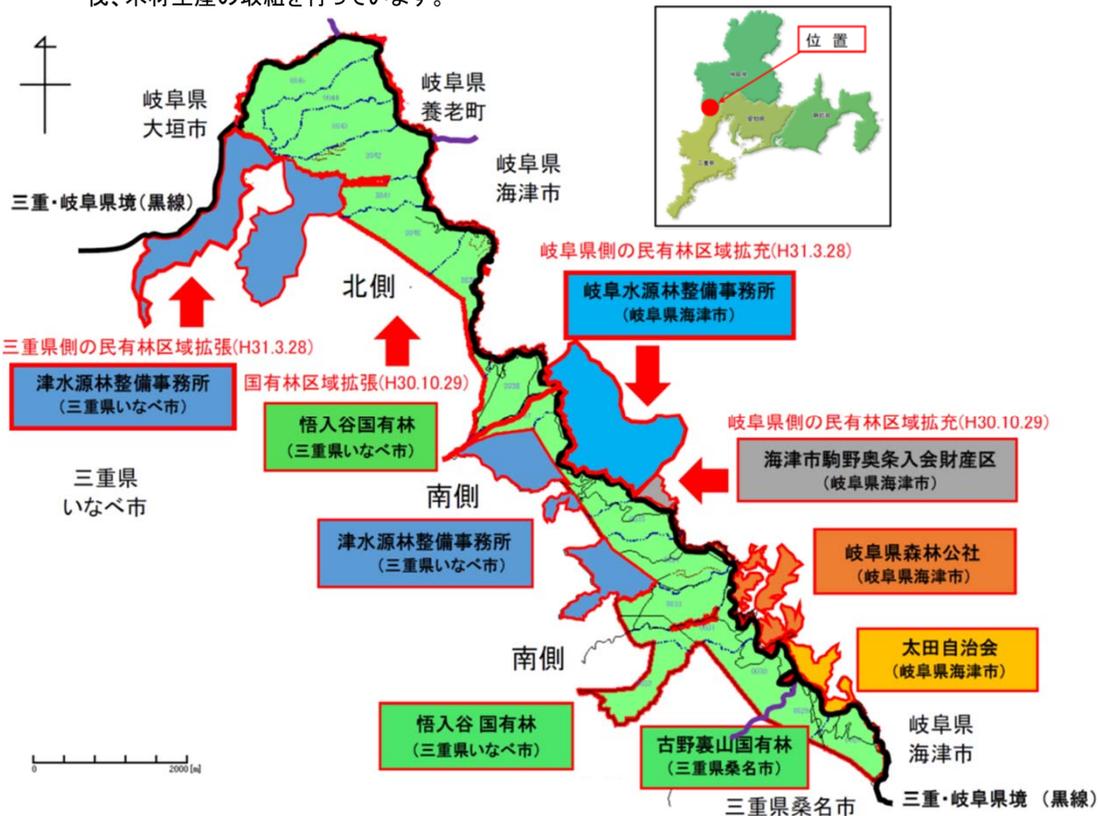
間伐等の施業の集約化・低コスト化を民有林と連携して推進するため、民有林と国有林が隣接する場所において「森林共同施業団地」を設定し、連携した路網整備や相互利用、木材の協調出荷等に向けた取組を進めます。

森林共同施業団地

管内には令和2年3月末で31箇所の森林共同施業団地を設定しています。

優良事例：悟入谷・古野裏山地域の森林共同施業団地

- ※ 三重署管内の悟入谷(ごにゆうだに)・古野裏山(このうらやま)国有林と隣接する三重・岐阜両県の民有林(水源林事務所・森林公社・財産区等)と協定を締結し、民国連携による路網整備や間伐、木材生産の取組を行っています。

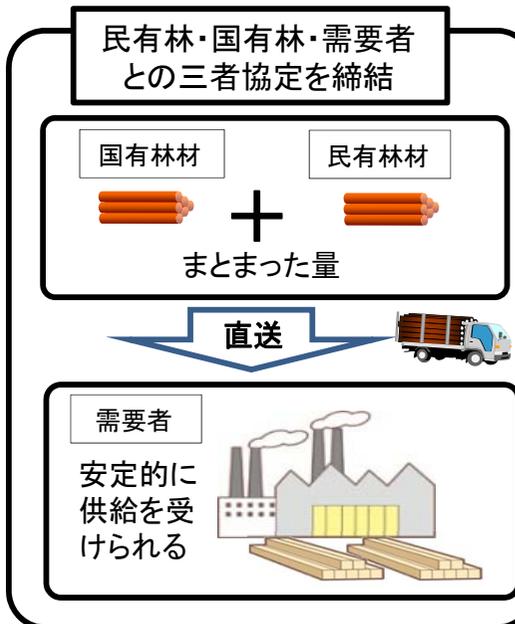


管内の森林共同施業団地の設定状況(令和2年3月31日現在)

署等名	箇所数	団地面積(ha)			署等名	箇所数	団地面積(ha)		
		計	国有林	民有林			計	国有林	民有林
三重	2	2,754	2,136	618	島根	14	9,566	3,131	6,435
奈良	1	435	120	315	岡山	4	2,819	1,590	1,229
京都大阪	1	1,008	305	703	広島北部	2	1,786	530	1,255
和歌山	1	2,594	843	1,751	広島	3	2,640	1,318	1,322
鳥取	1	1,479	1,097	382	山口	2	773	652	121
					計	31	25,853	11,722	14,131

民有林と国有林が連携した直送販売(安定供給システム販売)

国産材の需要拡大や製材工場、原木市場等の需要者に安定供給するため、民有林と国有林が協調して木材を出荷する「民有林と連携したシステム販売」に取り組みます。



- ※当局第1号事例
- ・協定締結日: 令和元年9月24日
- ・協定者(協調出荷相手)
公益社団法人岐阜県森林公社
- 協定者(出荷先)
西垣林業株式会社

3 林業の低コスト化の推進

林業の成長産業化には、採算性の向上や今後予想される再造林面積の増加に対処するための森林施業の低コスト化が必要です。そのため、①素材生産と造林の一貫作業、②コンテナ苗の使用、③植栽本数の削減、④獣害防護柵設置コストの低減、⑤下刈の省力化の推進、⑥列状間伐の推進、⑦丈夫で効果的な路網整備等を推進します。

⑦ 路網整備

- ・ 搬出、運搬の効率化及び低コスト化
- ・ 路網密度の向上（集材距離の短縮）



伐採



搬出

- #### ① 一貫作業システム
- ・ 全木での木寄せによる地拵の省略
 - ・ 伐採直後のコンテナ苗の植付による作業の効率化
- #### ② コンテナ苗
- ・ 植栽時期の拡大
 - ・ 地拵経費削減
 - ・ 当年生苗の実証試験

⑥ 列状間伐

- ・ かかり木減少
- ・ 残存木の損傷が減少



下刈

地拵



植栽

⑤ 下刈の省力化

- ・ 下刈方法（全刈→筋刈）の検討
- ・ 冬下刈の試験導入

④ 獣害防護柵

- ・ ドローンによるメンテナンス経費削減
- ・ 支柱の立木使用

生産性向上の取組

生産事業の作業システムを最適化し、生産性の向上と生産コスト縮減を支援するため、府県等と連携し、作業日報・月報による工程管理の推進に取り組みます。

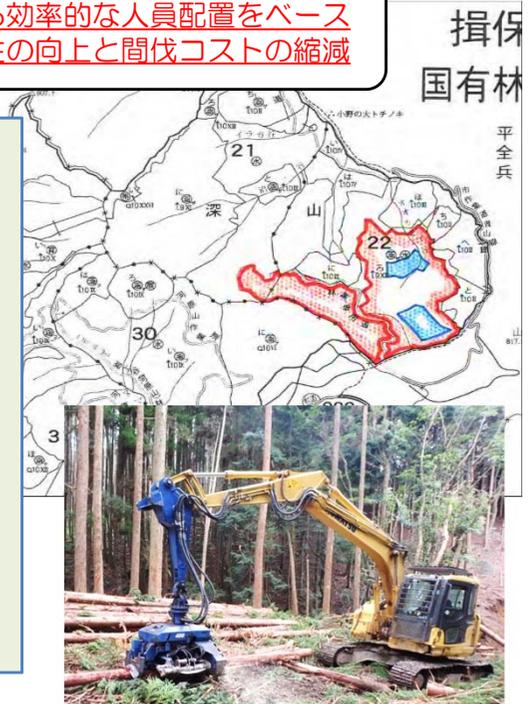
また、国有林間伐・再造林推進コンクールを通じた優良事例の普及に取り組みます。

事例：令和元年度国有林間伐・再造林コンクール『搬出間伐部門』**最優秀賞**
【受賞者：しそ森林組合（兵庫県宍粟市）】

伐採作業と林業機械作業の兼務による効率的な人員配置をベースとした、改善の積み重ねによる生産性の向上と間伐コストの縮減

- チェーンソーによる伐採作業と高性能林業機械作業の両方に従事できる**マルチ技能者**を育成。
- マルチ技能者を中心に、次の工程の作業効率が高くなるよう前工程の作業方法の見直しを全作業員で行い、実行。
- 作業員間で話し合い、毎日一週間分の事業計画を見直しつつ当日の作業を実施し、進行管理情報を共有するなど、作業員が**ONE TEAM**となり取り組んだ。
- 毎日、**少しずつ改善を積み重ねる**ことで、生産性の向上とコストを縮減。

これらの地道な改善の取組が高く評価された事例です。



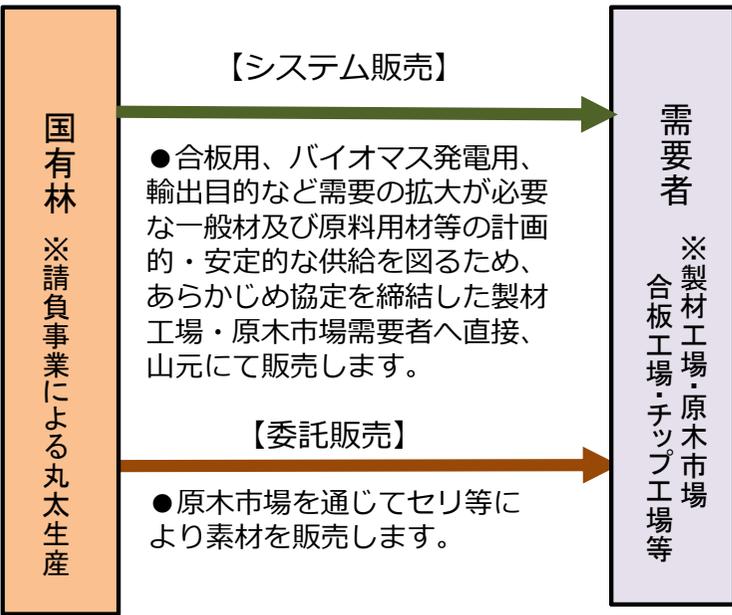
揖保
国有林
平全兵

4 林産物の安定的な供給と林業事業者等の育成・強化

地域における木材供給体制の構築等を図るため、国有林の森林整備の結果発生した間伐材等（丸太）の持続的かつ計画的な供給に努め、地域の林業・木材産業の成長産業化に貢献していきます。

また、林業事業者（造林・生産）の育成・強化を図るため、複数年にわたる事業発注、事業者との情報・意見交換会の開催等に取り組み、意欲と能力のある林業経営者を支援するとともに、働き方改革に取り組む事業者の取組促進に寄与します。

国有林材(丸太)の供給



国有林からの丸太供給量 単位:千m3

	委託販売	システム販売	計
平成30年度(実績)	38	69	107
うちバイオマス用		35	35
令和元年度(見込)	40	61	101
うちバイオマス用		35	35
令和2年度(計画)	43	70	113
うちバイオマス用		(未定)	(未定)

複数年にわたる事業発注の推進

「競争の導入による公共サービスの改革に関する法律」(平成18年法律第51号)に基づく市場化テスト(単年度会計制度の例外として試行)の一環として、一定のまとまりのある規模の間伐等の森林整備を、民間事業者の企画提案によって効率的に行うため、複数年(2~3年)にわたる単位で発注します。こうした取組により、事業量の平準化や雇用の安定化に貢献します。



意欲と能力のある林業経営者を支援

林業、森林整備に関連する施策の方向、入札制度、労働災害防止対策等に関する情報提供、林業信用保証制度の説明や、国と事業者との質疑応答などを内容とした、情報・意見交換会を開催し、発注者、受注者双方の事業実施に関する情報の共有を図ります。



【林業事業者との意見交換会】

木材の供給調整の取組

民有林や木材の加工・流通の関係者、有識者等による委員会を年間4回開催し、地域の木材価格や需要動向の把握に努め、国有林材の安定供給において参考とし、必要に応じて供給調整を実施します。



【国有林材供給調整検討委員会】

5 技術開発と普及

民有林における森林管理や林業経営への普及を念頭に置き、早生樹等の成長に優れた苗木の活用等による低コスト造林技術やICT（情報通信技術）等の先端技術を活用した効率的な森林管理・利用手法の開発・実証に取り組めます。

これらの開発、改良された森林・林業技術や各種試験地等で得られた成果については、森林生態系全般に着目した公益的機能の発揮や林業の低コスト化に向けた現地検討会や森林・林業交流研究発表会などを通じて、地域林業関係者等への普及・定着を図ります。

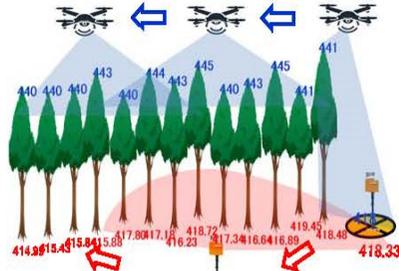
先端技術活用による効率的な森林管理・利用

森林資源等の情報をデジタル化することにより、人手や時間をかけることなく、森林を管理・利用することが可能となります。

森林技術・支援センターでは、「地上型レーザースキャナ」や「ドローン」等を用いた効率的な森林管理・利用手法の検討を進めています。

今年度は、引き続き、森林調査における精度向上に向けて取り組むほか、各署等においては、素材生産事業や保育間伐事業での実用化を目指します。

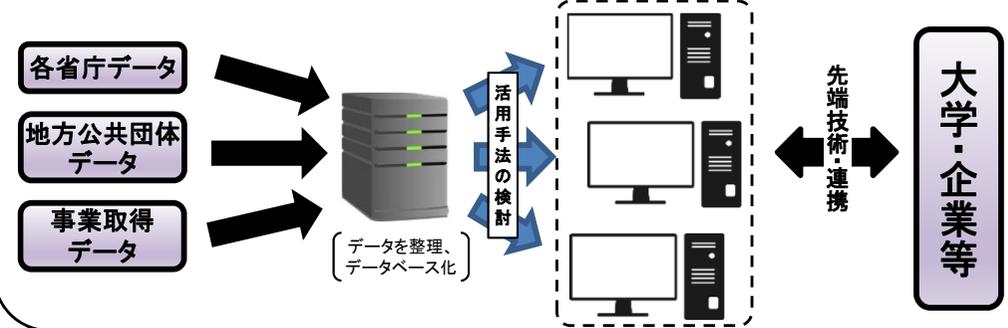
このほか、大学との連携により、地上型レーザースキャナとドローンの併用による樹高測定精度の向上やより幅広い用途へのレーザー計測データの活用に向けた技術開発に取り組むとともに、民有林への技術の普及に取り組めます。



【レーザースキャナとドローン併用による測樹】

ICT(情報通信技術)の活用による森林管理の効率化

各省庁や地方公共団体が所有するデータ、国有林で取得したデータなど、散在しているデータを整理し、それぞれの森林管理の用途等に応じて、これらのデータを有効に活用する手法や必要な先端技術について、森林管理の効率化に向けた技術開発に産学官連携により取り組めます。



森林・林業交流研究発表会



※研究発表会の案内

森林・林業に係る技術・優良取組事例などの情報交換及び普及を図ることを目的に「森林・林業交流研究発表会」を開催します。

例年、局職員以外にも、管内の研究機関、地方自治体、林業事業体、学校等、様々な方に森林・林業技術の普及や自己研鑽の機会として活用いただいています。

昨年度は、シカの被害対策や低コスト造林の取組、早生樹造林、山地災害復旧対策など地域の課題に密着した幅広い研究や取組の発表がありました。

今年度は、**11月10日～11日**に開催を予定しています。発表の申込み等については、詳細が決まり次第、局HP等でお知らせします。



【令和元年度開催パンフレット】

里山広葉樹林の活用・再生



※里山広葉樹活用・再生プロジェクト

里山の森林資源を有効に活用することで、森林を若返らせ、ナラ枯れ被害や獣害を抑制するとともに、地域の振興にもつなげることを目指す取組として、平成29年度から、「里山広葉樹林活用・再生プロジェクト」に取り組んでいます。

岡山県内の里山広葉樹林をフィールドとして、伐採から木材販売までを実施し、採算性や天然更新の可能性を検証しています。

今年度は、引き続き、小規模な皆伐等を試行して採算性の向上や的確な更新を図るとともに、「**第2回里山広葉樹活用シンポジウム**」の開催等を通じて情報発信を行います。



【第1回シンポジウムの様子】

Ⅲ 国民の森林としての管理経営

1 観光資源としての積極的活用

「レクリエーションの森」を観光資源として魅力を引き立て、多様なコンテンツを提供するため、「**日本美しい森 お薦め国有林**」(20箇所)において、施設整備や修景伐採、多言語看板の設置、HPによる情報発信など重点的な取組を実施します。

大和三山風景林(耳成山・香久山・畝傍山)【奈良県橿原市】



逆さ耳成山



橿原神宮と畝傍山



施設等の整備 大和三山風景林 (畝傍山)



歩道整備



2 国民参加の森林づくり

国民参加による森林づくりの促進を図るとともに、国有林野が所在する地域の振興に寄与することを目的に、国有林野において記念分収造林の設定を推進することとしています。

天皇陛下御即位記念分収造林

兵庫県知事と近畿中国森林管理局長との間で天皇陛下御即位記念分収造林契約を締結し、当該国有林野を**兵庫県立森林大学の学生の実習フィールド**として提供します。これは、天皇陛下御即位記念分収造林が林業大学等への支援として活用される全国初のケースとなります。

兵庫県宍粟市山崎町 河原山国有林24い林小班 (兵庫森林管理署)



分収造林予定地

設定面積 2.03ha



3 森林環境教育の推進

ESD※の視点を踏まえ、持続可能な社会の構築に果たす森林・林業の役割や木材利用の意義に対する国民の理解と関心を高める取組を一層推進します。

箕面森林ふれあい推進センターの取組

※ESDとは、「Education for Sustainable Development」の略で、「持続可能な開発のための教育」と訳されている。環境、貧困等の様々な地球規模の課題を自らの課題として捉え、自分にできることを考え、身近なところから取り組むことにより、課題解決につながる価値観や行動を生み出し、持続可能な社会の創造を目指す学習や活動のこと。

文部科学省と環境省はESDの推進に向けてネットワークの構築を他の関係省庁とともに進めています。こうした中、令和元年12月、箕面森林ふれあい推進センターは地域ESD活動推進拠点（ESDを支援・推進する役割を担う組織）として登録され、令和2年3月には、当センターの開発した森林環境教育プログラム「森の探検隊」が「土曜学習応援団」（文部科学省が運営する取組）のサイトに掲載されました。今後、これらの登録をきっかけとして当センターの活動を積極的にPRしていきます。

【「土曜学習応援団」掲載サイト】

https://manabi-mirai.mext.go.jp/search_program/detail/002213.html



【森林環境教育プログラム「森の探検隊」大阪府箕面市 箕面国有林】

森の中でポイントごとにおいてある指令書とヒントから回答を考えたり、五感を使った体験を通じて、森林が暮らしに果たしている役割を学ぶ。現在、箕面市内の小学校が森林環境教育の一貫として活用している。

4 多様な情報受発信

広く一般の方に森林・林業に対する理解を深めていただくため、各種イベントを実施します。また、一般の方や地域からの意見・要望を把握し、業務遂行の参考とします。

水都おおさか森林の市2020

「森林の市」は、森林の恵みに一般の方々が触れていただくことで、森林と人とのつながりや大切さを実感していただき、豊かな森林資源を次世代に引き継いでいくことを目的に、ジビエ料理の販売や木工クラフト体験などの各種イベントを実施しています。

今年度は、**10月25日（日）**に予定しています。多くの方の御来場をお待ちしております。



※「森林の市」の案内



【オープニングセレモニー】



【クラフト体験を楽しむ来場者】

国有林モニター制度

「国有林モニター」を一般の方から毎年度公募し、国有林をはじめ森林・林業に関する様々な情報を紹介するとともに、国有林野事業の管理経営の様々な分野に対する意見・要望をいただいています。

また、「国有林モニター会議」では、国有林の事業を行っている現場を見学いただいた後、意見交換会を開催しています。



【令和元年度モニター会議の様子】

5 伝統文化の継承への貢献

管内には京都、奈良の社寺・仏閣など歴史的木造建築物が多くあり、これらの維持・修繕に必要な檜皮（ひわだ）を供給するとともに、将来の修復用材確保に向けた資源育成や普及啓発活動に取り組みます。

世界文化遺産貢献の森林

世界文化遺産周辺の国有林において檜皮の供給、景観の保全等の取組を推進します。

【貢献の森林を設定している世界文化遺産】

- 古都京都の文化財（京都府）
- 古都奈良の文化財（奈良県）
- 法隆寺地域の仏教建造物（奈良県）
- 紀伊山地の霊場と参詣道（三重県、奈良県、和歌山県）
- 厳島神社（広島県）



危険木の撤去【京都府京都市 高台寺山国有林】



侵入竹の除去【奈良県橿原市 畝傍山国有林】

檜皮採取対象林

林齢80年生以上のヒノキ人工林266haを設定し、檜皮の持続的な供給や技術者の養成に貢献します。

文化財継承林

歴史的木造建造物の修復に必要なケヤキ、クスノキ等を育成します。

「木の文化を支える森づくり」のPR



※木の文化を支える森

歴史的木造建造物や伝統文化の継承等に貢献するため、地域の協議会と協定を結んだ「古事の森」において、適切な森林整備や保全活動を行うとともに、森林と文化財との関わりや重要性について、普及啓発活動に取り組みます。



「春日奥山古事の森」普及啓発イベントの様子（奈良県奈良市）

◆ 管内の「古事の森」設定箇所 ◆

名称	所在地	国有林名	面積
京都古事の森	京都市	鞍馬山	1.99 ha
春日奥山古事の森	奈良市	地獄谷	0.48 ha
高野山古事の森	和歌山県高野町	高野山	1.51 ha
斑鳩の里法隆寺古事の森	奈良県斑鳩町	野山	1.16 ha

6 大学、試験研究機関との連携の強化

研究機関や大学等と「連携と協力に関する協定」を締結し、各機関が有する専門的かつ高度な知識・技術と、国有林が有するフィールド、資源、組織力を相互に活用することで、森林・林業の発展や地域の課題解決に向けた取組を進めています。

近畿大学との連携

令和元年10月に新たに連携協力協定を締結した「近畿大学」と連携し、林業・木材産業の成長産業化等に貢献するため、地上型レーザーキャナの活用等に関する共同試験を実施するとともに、森林・林業に関する人材の育成や森林環境教育の普及に取り組みます。

このほか、京都大学、京都府立大学との連携協力協定に基づく取組も推進します。



国有林での学生実習
【京都府京都市 高台寺山国有林】



【協定調印式（令和元年10月）】



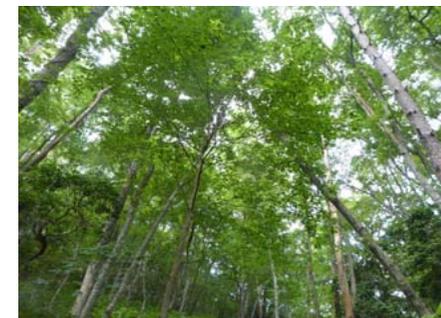
※大学・研究機関との連携協力

森林総合研究所関西支所との連携

「森林総合研究所関西支所」との連携協力協定に基づき、平成25年度から、民有林関係者を対象とした現地検討会を開催しています。

昨年度は、「里山広葉樹林の活用と再生」をテーマとして開催し、2日間で延べ186人に参加いただきました。

今年度は、**10月8日～9日**に開催を予定しています。テーマや詳細については、決まり次第、局HP等でお知らせします。



伐採前の里山広葉樹林の林相
【岡山県新見市 釜谷国有林】

(各森林管理署・森林管理事務所の主要事業量内訳)

区分	項目	単位	令和2年度主要事業量(年度当初予定)														
			石川署	福井署	三重署	滋賀署	京都大阪所	兵庫署	奈良所	和歌山署	鳥取署	島根署	岡山署	広島北部署	広島署	山口所	
収穫	主伐	千㎡	501		26	6	5	25	7	128	17	62	70	61	52	40	
	間伐	千㎡	529	2	21	69	14	10	49	12	39	38	72	71	48	43	41
販売	立木販売	千㎡	169		1	1	5				17	40	12	34	19	39	
	製品販売	千㎡	113	0	1	7	1	1	12	1	13	9	11	31	16	7	4
造林	植付	ha	164			4	1	4	2	15	5	14	54	42	19	5	
	下刈り	ha	348	23	9	1		23	0	9	3	42	109	70	40	18	
	つる切・除伐	ha	129	17	8			10		21		45	15		4	10	
	保育間伐	ha	2,683	5	143	428	71	10	194	66	247	205	364	483	220	188	59
林道	林道新設	km	8.2		0.6	3.0	0.3			1.3	1.0	0.3	0.7	0.7		0.5	
治山事業	国有林直轄治山	百万円	4,004	188	106	163	83	557	364	110	262	288	162	239	118	1,182	180
	民有林直轄治山	百万円	9,535	371						3,010	1,656					4,498	

①事業量(年度当初予定)には、前年度の繰越事業量を含みます。

②収穫量、立木販売量には、分収林の民収分の数量を含みます。

③単位未満の四捨五入により、計と内訳が一致しない場合があります。